



# SSP療法

SSP療法 (Silver Spike Point) は、1976年大阪医科大学麻酔科と日本メディックスとの産学共同研究により「刺さないハリ治療」という発想から開発された治療法です。円錐の形状を持つ金属電極を用いた体表面刺激療法であり、この電極によって経穴、圧痛点、モーターポイントなどを効果的に刺激することが可能です。

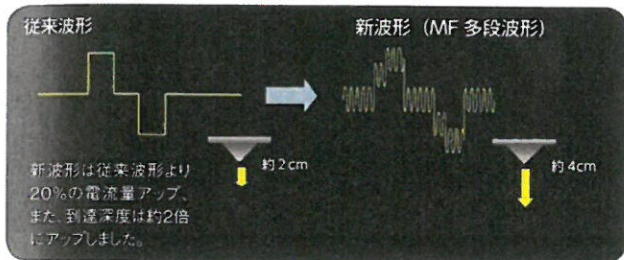
## SSP電極のカタチ

先端部が皮膚に密着する際に圧力が集中し、皮膚の角質層は薄く引き伸ばされ、先端部の電気的抵抗は低くなります。その結果、先端部に電流が集中するため、治療点への高密度な通電が可能となります。



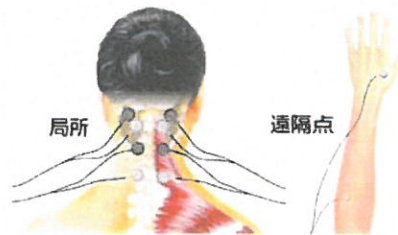
## MF多段波形

SSP 治療モードに新波形「MF 多段波形」を採用  
新波形は従来波形に100,000Hzの中周波を重畳させることにより20%の電流量アップ、また、到達深度は約2倍にアップしました。



## デュアル通電

鎮痛の即効性と持続性を同時に作用させるためにチャンネル毎に高頻度刺激、低頻度刺激の設定が可能です。治療ポイントは、高頻度刺激は局所(痛みのある箇所)、低頻度刺激は遠隔点(合谷、手三里など)に置きます。



## FP治療モード

**Pulse Stimulation (パルス波刺激療法)** パルス幅150 $\mu$ sの双方向性対称波を用いて神経刺激による鎮痛効果が得られます。

**MF (中周波電気刺激療法)** 2,500Hz~16,000Hzの中周波を用いて、100%・50%・バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去等を効果的に行います。



## MC/MCC治療モード



### MC治療モード

早期からの治癒促進に

生体内に微弱な電流を通電させ、損傷組織の治癒促進や、細胞レベルでの代謝の活性化を促します。神経や筋を興奮させないため、運動後の筋肉痛の軽減や炎症の抑制などに適応できます。

### MCC治療モード

全身コンディショニングに

MCC治療モードとは、全身調整微弱療法のことで、上下肢の4点から微弱電流を流すことでホメオスタシスを調整し、全身の細胞の活性化を促す新しい療法です。通常電気刺激療法の後療法として活用していただくことにより一層効果が高まります。

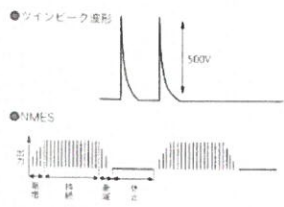


## HV治療モード

高電圧で筋の再教育などに

最大500Vの高電圧電気刺激をツインピーク波形で瞬間的に加える高電圧電気刺激療法は、皮膚インピーダンスの影響を受けにくく、電気刺激を深部組織まで到達させることができます。そのため、疼痛の軽減や血流量の増大、皮膚潰瘍の治癒促進などに利用されます。NMESモードの設定もできます。

### HV治療波形



HVハンディプローブN

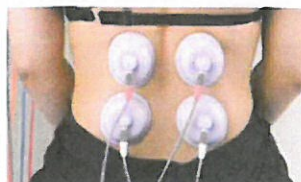
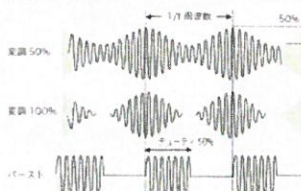


## MF治療モード

最大16,000Hzの中周波のちから

2,500Hz~16,000Hzの中周波を用いて、100%・50%・バーストの3種類の正弦変調波による電気刺激で筋ポンプ作用などによる血行改善・発痛物質の除去等を効果的に行う中周波電気刺激療法です。治療器本体内で変調波生成し干渉波と似た刺激電流を得られ、2つの電極だけでも治療ができ、また肩や肘などの部位でも楽に導子が装着できます。NMESモードの設定もできます。

### MF治療波形



ソフト吸引カップS導子